

2026年度「教育と福祉の連携に関する学習会」のご案内



この学習会は、特別な支援ニーズをもつ子どもと保護者に関わる公立保育所・幼稚園・小中・養護学校の先生方を対象に、福祉と教育相互の理解と対応力を高めることを目的として、一昨年度からスタートしました。オンラインで気軽に集まって、現場に役立つ特別支援に関する知識や連携について学び合いましょう。

	開催日	時間・方法	テーマ	内 容（※変更する場合があります）	申込締切日	お申込
第1回	6月26日(金)	15:45~16:45 オンライン(Zoom) ログインは15:25~	市立発達支援センターと 福祉制度・医療機関の活用	- 市立発達支援センターについて 個別相談で行う支援（行動問題への対応例など） 保護者への紹介の仕方 - 各種福祉制度、県立子ども発達支援センターの内容紹介	6月17日(水)	
第2回	8月4日(火)	10:30~11:30 オンライン(Zoom) ログインは10:10~	ライフステージを見すえた こどもの支援	- 中学卒業後の進学、就労の選択肢や道筋 - 将来を見すえた、就学前、学齢期に必要な支援を考える	7月27日(月)	
第3回	11月20日(金) ※日程が変更になりました	15:45~16:45 オンライン(Zoom) ログインは15:25~	保護者の理解と支援	保護者の心情理解と、対話の仕方 (実際のご質問をもとに、具体的な対応例を考える)	11月11日(水)	

【申込方法】

- 各回の二次元コードを読み取っていただき、**お一人ずつ**お申し込みください。
- 第1回から第3回まで、締切日までは年間を通じて申込可能です。
- 申込み後にキャンセルされる場合は、右記の明石市立発達支援センターまで電話かメールをお願いします。

【参加対象】

- 子どもと保護者に関わる方であれば、どの役職の方でも、各所属から何名でも、ご参加可能です。各機関内で情報共有してください。
- 保育所のみ、所長先生、副所長先生のみが対象となりますので、ご了承ください。

【当日の参加方法】

ミーティングID「760 630 1039」 パスコード「yougo135」
URL <https://us02web.zoom.us/j/7606301039?pwd=OTJCYWQvcE05U0JENFRGeVpIVG5BZz09>

- 所属から複数名お申込の場合は、**可能な限り1所属につき1台の端末で**ご視聴ください。（参加台数に上限があるため）
- 当日の資料は、前日までに各所属あてに送ります。（**教育は校支援システム、保育所・幼稚園はメール**）
- Zoomの**表示名を「各所属の名称 人数」に変更し、カメラはオン、マイクは「オフ」**でご参加ください。
- 事前質問以外で、当日質問したい場合は、チャットに入力していただくようお願いします。
質問時は指名しますので、マイクをオンにしてお話ください。
- 各回終了後に、簡単なアンケートにご協力いただきます。

【お問い合わせ】

明石市立発達支援センター
担当：樋口・長井・田邊
TEL：078-918-5841 FAX：078-918-5843
Mail：hattatsushienka@city.akashi.lg.jp

明石市立明石養護学校
担当：西本・西川

参考) 昨年度ご参加された先生方の声♪

第1回 「市立発達支援センターと相談窓口・医療機関の活用」 51名

- 改めて明石市立発達支援センターの役割と、学校や保護者との連携について学ぶことができた。同研修会の内容を校内にて、少しずつでも広めていくことが、よりよい支援につながると感じた。
- 困りごとが何かという事を保護者と共にしっかりと確認して各機関へ繋ぐことが大切だと知りました。
- 発達支援センターに紹介する際に気をつけることが聞けて良かったです。また、少しずつ懇談等で課題を伝えていくことで、紹介もしやすいのかな、と思いました。



第2回 「こどもの特性理解 愛着障害について」 56名

- 発達障害と愛着障害の見極め例を教えてください、幼児の姿を照らし合わせて考える機会となった。
- 今まで、発達障害と愛着障害の違いが分からなかったことで、子どもへの支援の仕方が分からず、どうしても叱ってしまう場面が多くなっていました。しかし、本日の話を聞いたことで、違いについて理解でき、支援の仕方や指導の方法を学ぶことができました。
- 対応する時の具体的な声掛けや、教師の姿勢を教えてください、今後の指導や支援に生かせそうです。
- 愛着障害と発達障害の違いがよく分かりました。似通っていることが多いですが、背景を見極めて丁寧に対応していきたいなと思いました。

第3回 「保護者の理解と支援」 59名

- 課題を共有する対話の流れについて、まとめていただき参考になりました。懇談の場で保護者に伝えることに難しさを感じている職員が多いので共有させていただきます。
- 子供の困り感を伝えるだけでなく、その後子供の心情を読み取りながら、こちらの願いも伝え、保護者と子供たちの成長を共有し合える教師でありたい、と改めて感じ、今後も丁寧にかわっていきます。
- 保護者に児童の現状をお伝えする時の具体的な例を示していただき、参考になった。短所の中の長所を見つけて伝えるという言葉が印象に残っている。
- 保護者との対話で、一回の面談や単年度の対話で全てを伝えたり、医療機関・検査・特別支援学級などにつなげたりと結論を急がないことが大切だと再確認できました。
- 保護者にとっては私たちより長く一緒にいて成長を見守ってきたお子さんであるということを忘れずに、共にお子さんを育てていけるように対話していきたいと思います。

